

平成19年度 練馬まちづくりセンター事業報告

1 まちづくりに関する調査・研究およびその成果の普及

(1) まちづくりに関する調査・研究

住民参加・協働型のまちづくりを進めていくための調査・研究活動として、18年度より、他自治体のまちづくり支援機関とのネットワーク会議に参加し、まちづくり活動助成の仕組みや各種事業のPR方法等について、情報交換および協議を継続してきた。19年度は8月に、としま未来文化財団（豊島区）で開催された会議に参加し、ネットワーク会議の組織化にむけた検討を行った。その結果、20年3月に「市民まちづくり支援・都市ネットワーク会議」が設立され、協力体制の拡充や他自治体・団体との共同事業の実施に取り組むべく、参加することとした。

<参加団体>財団法人世田谷トラストまちづくり、財団法人まちみらい千代田、財団法人練馬区都市整備公社練馬まちづくりセンター、財団法人としま未来文化財団、草加市、財団法人名古屋都市センター、高知市・高知市市民活動サポートセンター、福山市（市民局協働のまちづくり課）、横浜市・横浜市市民活動支援センター運営委員会

(2) みどりに関する取り組み

練馬区におけるみどりを育む活動を推進するため、練馬らしいみどりの資源的価値の把握など、みどり空間の保全・創出に向けた方策についての調査・研究を行っている。19年度は「憩いの森等カルテ作成」および「落葉のリサイクル」業務を、区からの受託事業として実施した。

(3) 農地と共生したまちづくりに関する調査・研究

練馬区の「みどり30推進計画」に基づく区からの受託事業として、農地や樹林地等のある地域で、みどりと共生したまちづくりを進めるための課題や支援方策についての調査、研究活動に着手した。

(4) インターンシップ（学生実習生受入れ）制度の実施

学生がまちづくりセンターでの就業体験を通して職業意識を高めるとともに、センター職員が実習生の教育を行うことを通じて、自己啓発の契機を得ることを目的として、大学生および大学院生に対しインターンシップを実施した。

<実施時期>

平成 19 年 7 月～10 月

<学校名および人数>

芝浦工業大学システム工学部、東京大学工学部、東京理科大学理工学部、長岡造形大学造形学部、早稲田大学創造理工学部、千葉大学大学院工学研究科、東京工業大学大学院社会理工学研究科 計 7 名

(5) まちづくりセンター運営協議会の開催

まちづくりセンターが適切公正な運営や効果的な事業を行い、まちづくり活動の促進に資するよう助言を行う組織として、「練馬まちづくりセンター運営協議会」を設置している。学識経験者や公募区民など 10 名の委員により構成し、センターの企画運営・事業展開などについて協議している。19 年度は 6 月、9 月、12 月に開催した。

2 まちづくりに関する相談、助言および支援

(1) 練馬区まちづくり条例に基づく専門家派遣

条例に基づき大規模建築物の建築、増築、用途変更などが計画された際、周辺住民と事業者が建築計画について話し合うときに、第三者の立場からアドバイスを行う事業を、区からの受託事業として実施している。アドバイスは専門家である弁護士、一級建築士、都市計画または建築に関する学識経験者の 3 名一組で、原則として 1 案件につき 3 回まで派遣を行っている。

<派遣実績> 1 件

- ・ 種別：大規模建築物等に係る専門家派遣
- ・ 建築計画名称：(仮称) 高野台五丁目計画
- ・ 派遣日時：第 1 回 6 月 16 日(土) 専門家 2 名、参加者 79 名
第 2 回 6 月 24 日(日) 専門家 3 名、参加者 77 名
第 3 回 7 月 8 日(日) 専門家 3 名、参加者 67 名

(2) まちづくり相談と地区まちづくり支援

まちづくりセンター窓口において、区民等が抱える、まちづくりに関する様々な相談にセンター職員が対応している。特に、専門的立場からの対応が必要な場合には、専門家派遣により対応する。

19 年度は地区まちづくり支援として職員が出向き、特定地区のまちづくりについて相談やまちのルールづくりの検討などを行った。

<対象地区>

城南住宅地区(向山三丁目)・高野台五丁目地区・武蔵関建築協定地区(関町北三丁目)

(3) 区民主体のまちづくり活動に関する支援

センターの登録団体に対し、まちづくり活動に必要な打合せ・作業スペースの提供を行うとともに、複写機や印刷機等の貸出（有料）を行っている。19年度8月からは新たに、プロジェクター（有料）やポラロイドカメラ等（無料）の備品貸出を開始した。

- ・ 登録団体数 41団体（平成20年3月末現在）
- ・ 複写機の使用枚数 5,401枚
- ・ 印刷機等の使用件数 41件

なお、センターの営業時間は、平日（月～金曜日）の午前9時～午後5時であるが、夜間・休日も一部営業している。

[夜間・休日の開室時間]

夜間：毎週水曜日 午後5時～午後9時

休日：毎月第二土曜日、第二日曜日 午前9時～午後5時（1月・8月を除く）

月別利用状況

(単位：人)

年 月	個人利用	団体利用	センター事業	合計	前年同月
19年4月	69	48	144	261	226
5月	43	54	253	350	168
6月	79	51	420	550	229
7月	27	42	183	252	206
8月	31	60	33	124	49
9月	24	57	100	181	124
10月	41	68	450	559	227
11月	44	42	123	209	187
12月	33	59	88	180	194
20年1月	26	33	114	173	228
2月	23	58	99	180	199
3月	34	44	189	267	279
合 計	474	616	2,196	3,286	2,316

(4) まちづくり団体への活動費助成

区民による自主的なまちづくり団体に対して、活動費の助成を行っている。なお、助成金の交付決定にあたっては公開審査会方式により行った。

<補助金総額> 250万円

<部門・対象団体>

[たまご部門] 定額5万円

これからまちづくり活動に取り組む団体

[はばたき部門] 上限30万円

身近な生活空間の保全改善等のために活動経験のあるまちづくり活動団体

<助成決定内容>

[たまご部門] *申請団体数…3団体

No.	団体名	活動内容	助成金額
1	中村小学校グリーンキーパーズ	芝生の上で親子でキャッチボール大会～近隣住民を対象に親子関係や地域とのつながりを大切に、校庭の芝生を理解していただく	50,000円
2	なじみ研究会	練馬都森化計画その1 ＝絵本製作のための原稿作り	50,000円
3	練馬チアリーダーズ	元気 勇気 みどり Smile	50,000円

[はばたき部門] *申請団体数…16団体

助成決定団体

No.	団体名	活動内容	助成金額
1	未来こどもランド	未来こどもランド号がやってくるよ！公園で一緒にあそぼう	99,300円
2	石神井川探検隊	石神井川の復活とまちづくり	206,000円
3	まっぷす（練馬区南西地域まちづくりグループ）	千川上水緑道について考える	300,000円
4	自然環境ねりまくらぶ	市民が自然に親しみ、生態系と市民との豊かな共生関係をつくっていく活動	90,000円

資料 1

5	白子川源流・水辺の会	白子川源流の水辺環境の保全・回復活動と、地域住民の自然環境全般への意識向上と具体的取組への歩みを促す	170,000 円
6	ねりま・ごみフォーラム	生ごみ回収の仕組み作り試行	223,000 円
7	光が丘まちづくりフォーラム	光が丘CMコンテスト開催	300,000 円
8	環境まちづくり NPO エコメッセ練馬運営委員会	地球温暖化対策としての自然エネルギー、省エネルギー環境教育プログラムづくり 2 年目・環境プログラム実施と講師養成講座	120,000 円
9	春日町街づくりの会	春日町のまちづくりの変遷を小学校の副読本と資料編にまとめる	250,000 円
10	東京建築士会練馬支部木の香る住まいづくり部会	木の香る住まい まちづくりセミナーの開催	96,000 円

再審査対象団体

公開審査会での審査の結果、助成対象とならなかった 6 団体は、審査員のコメントを受け、練り直した企画により、11 月に開催される中間報告会において再度助成申請をすることができる。

＜再チャレンジ審査＞

5 月の公開審査会で、助成対象とならなかった 6 団体のうち 4 団体から再審査の申請があり、このうち 3 団体が助成対象団体として決定した。

No.	団体名	活動内容	助成金額
1	石神井公園再生フォーラム	都立石神井公園の再生を市民の手で	158,000 円
2	安全・安心アカデミーガーディアンズ	区民が出来る公園を作る創造化計画	105,000 円
3	七夕ちがや馬実行委員会	練馬地域の古き良き風習「ちがや馬飾り」を次世代に伝えるとともに練馬区の個人商店を活性化させるきっかけをつくること。	35,000 円

<中間報告会の開催>

5月の公開審査会において助成決定を受けている13団体が、これまでの活動内容について中間報告を行った。

11月3日（祝・土）石神井庁舎5階会議室 来場者数47名

(5) 「練馬みどりの機構」に対する支援

平成18年3月に区民・事業者・区の協働により、練馬区のみどりを保護、保全、育成および活用することを目的として、「練馬みどりの機構」が区民主体の任意団体として設立された。まちづくりセンターは区と連携して、平成18年4月以降、機構組織の事務局支援業務を行ってきた。

平成19年度は、引き続き事務局支援業務を行うとともに、練馬みどりの機構と連携して、区内2か所程度の樹林地についての自然環境調査と保全方策の検討を行う「憩いの森等カルテ作成」業務を実施した。

<練馬みどりの機構が実施した主な事業内容>

照姫まつり、花とみどりの相談所夏のフェア'07、練馬まつり参加など

(6) 練馬区の住民参加型協働事業に対する支援

練馬区が行う区民との協働事業や区民参加型事業について、まちづくりセンターが企画協力または運営支援を行っている。平成19年度は前年度に引き続き、区地域福祉課の「福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業」に関して、公開審査会等イベントの開催や事業PR等を受託事業として実施した。

<主な業務内容>

- ・ポスター、ニュースレター作成などの事業PR
- ・活動助成金公開審査会等のイベント運営
- ・助成事業実施に関する相談業務

また、新規事業として区公園緑地課からの受託事業として、区立豊玉公園をモデル公園としてユニバーサルデザインの施設改修を行うためのワークショップ開催等の事業に実施した。

(7) 「建築無料相談」の後援

相談・支援事業を充実させていくため、平成16年1月から、社団法人東京都建築士事務所協会練馬支部と連携し、協会が区役所内で実施する建築無料相談事業を後援している。(相談件数32件)

3 まちづくりに関する普及啓発

(1) まちづくり情報誌「こもれび」の発行

区民のまちづくりへの関心を高めるため、まちづくりに関する様々な情報を掲載した「こもれび」を発行した。また、センターのホームページにも掲載している。

- ・規 格 タブロイド判カラー4ページ
- ・発行回数 4回（年4回発行／季刊）
- ・発行部数 各号10,000部（第33号のみ12,000部）
- ・配布場所 区内公共施設、各駅広報スタンド、郵便局等

(2) まちづくり講座の開催

区民のまちづくりに対する関心と意欲を高めるとともに、地域のまちづくりリーダーを育成することを目的として、区や区内のまちづくり関係団体と連携して、まちづくり講座を開催している。また、まちづくり活動に必要な知識・技術等を習得するためのスキルアップ講座や、公募区民により講座の企画から開催までを担う区民企画講座を実施している。

<実施主体>

「まちづくり講座運営会議」

東京建築士会練馬支部、NPO練馬まちづくりの会、練馬区環境まちづくり事業本部都市整備部都市計画課、練馬まちづくりセンター

<開催内容>

〔第1回〕テーマ「練馬区の観光まちづくり～『るるぶ練馬区』の編集を通して」

平成19年4月25日（水）練馬区役所本庁舎20階交流会場

講師：千葉和子（㈱JTBパブリッシング担当課長）

参加者：61名

〔第2回〕テーマ「商店街の元気がまちの元気に！」

平成19年8月1日（水）練馬区役所本庁舎20階交流会場

講師：内海康治・佐久間浩康（世田谷区祖師谷砦地域協議会ウルトラまちづくりの会）

参加者：14名

〔第3回〕テーマ「学校と地域社会との新たな関係づくり」

平成19年9月18日（火）石神井公園区民交流センター

講師：貞広斎子（千葉大学教育学部准教授）

参加者：31名

〔第4回〕 円卓会議「練馬の景観の魅力 再発見」

平成19年11月10日（土） 勤労福祉会館

出席者：五十嵐透（農業体験農園「イガさんの畑」園主）

石塚康夫（東京商工会議所練馬支部工業分科会長）

千葉和子（株JTBパブリッシング（るるぶ練馬区編集者））

奥村隆史（東京建築士会練馬支部）

大家隆（東京建築士会練馬支部）

笠原けい子（東京建築士会練馬支部）

佐々木克己（練馬区産業地域振興部商工観光課長）

浅倉清（練馬区土木部計画課長）

石川貴洋（練馬まちづくりセンター所長）

参加者：28名

〔第5回〕 テーマ「やめられへんのよ まちづくり～人とつながる楽しさと人をつなげる方法 お話しましょ」

平成20年1月29日（火） 石神井公園区民交流センター

講師：野田奏栄（大阪自然環境保全協会理事、株都市文化研究所主任研究員）

参加者：47名

〔スキルアップ講座①〕

テーマ「思いを書類に表現するコツ」

平成19年6月11日（月） 練馬区役所本庁舎19階1905会議室

講師：市川徹（まちづくり支援工房世田谷社）

関和子（練馬区福祉のまちづくり区民活動支援事業審査員）

小口優子（としま未来文化財団職員）

参加者：7名

〔スキルアップ講座②〕

テーマ「思いをみんなに発表するコツ」

平成19年7月7日（土） 練馬区役所東庁舎6階練馬まちづくりセンター

内容：公開審査会で発表を行う際のコツを参加者やゲストと一緒に考えて考える。

参加者：9名

〔スキルアップ講座③〕

テーマ「まちづくり活動を支えるお金のつくり方」

平成20年3月12日（水）練馬区役所本庁舎19階1902会議室

内容：工夫により独自の活動資金を確保している事例紹介と意見交換

コメンテーター：朝倉暁生さん（東邦大学准教授（環境計画）、まちづくり活動助成事業審査委員会副委員長）

参加者：22名

〔区民企画講座〕

練馬の「農」「食」「まち」をキーワードに練馬の魅力を学び、その楽しみ方を提案する企画づくりを行った。第1回のメンバー企画会議を7月に開催。以降毎月1回、計7回の企画会議を実施し、その学習成果を発表する場として、平成20年2月24日に「三ツ星直売所カフェ」を区立土支田農業公園にて開催。直売所の活用や練馬の「農」の現状について紹介した。

講座参加者12名

(3) まちづくり交流会「練馬まちづくりのWA（わ）メッセ」の開催

区内のまちづくり活動団体がそれぞれの活動内容を発表するとともに、団体同士の情報交換・交流の場として、「練馬まちづくりのWAメッセ2007」を開催した。なお、今回は平成18年度まちづくり活動助成の最終報告会と同時開催とした。

また新たな取り組みとして、WAメッセ準備委員会とセンターの共催で「光が丘地区祭」に出展した。

＜開催内容＞

①「練馬まちづくりのWAメッセ2007」

日時：5月26日（土）午後1時30分～午後5時45分

27日（日）午前10時～午後5時15分

会場：勤労福祉会館

参加団体：22団体（まちづくり活動助成団体および展示のみの団体を含む。）

内容：①ポスターセッション（出展団体の展示パネルを説明付で巡る）

②講演会：佐々木克己（練馬区産業地域振興部商工観光課長）

テーマ「練馬区のまちあるき観光について」

③交流会、団体表彰等

来場者：のべ103名（二日間）

② 光が丘地区祭

日時：10月20日（土）午前10時～午後5時

21日（日）午前10時～午後4時

会場：光が丘区民センター、光の広場、ふれあいの径

内容：①まちづくりセンターの事業PR、活動助成団体の紹介

②WAメッセ参加団体の紹介

③光が丘の写真展示、クイズ

来場者：のべ588名（二日間）

(4) まちづくりに関する情報コーナー（ミニライブラリー）の設置

区民の方のまちづくり活動の参考となる図書や冊子、パンフレット等を配備した「情報コーナー」を設置している。さらに、当初は閲覧のみであった図書について、平成18年10月からは貸出を実施している。

・蔵書数 約850冊（平成20年3月現在）

(5) ホームページ他による情報発信

まちづくりに関する情報をより多くの方に提供していくため、従来の公社ホームページとは別に、練馬まちづくりセンターのホームページを作成し、センターが実施する各種事業や区民のまちづくり活動等に有益な情報を発信している。

ホームページアドレス <http://nerimachi.jp/>